

RFID World Watcher Monthly

July 2017

目次

RFID 関連ニュース	3
プロダクト	3
ソリューション	3
企業・規制・標準化・レポート	5

RFID 関連ニュース

プロダクト

[ハードウェア]

台湾の Securitag Assembly Group 社が金属対応の薄型 UHF パッシブタグ Overmolded Uni Metal Tag の新製品を発表した。

[ソフトウェア]

オート ID ラボからスピンオフしたベンチャー企業 RedBite 社は低コストの資産管理ソリューション **itemit** を発表した。このソリューションは iOS/Android アプリとクラウドからなり、個人ユーザーが QR コードで管理を行う場合には利用料は無料、企業が UHF パッシブタグを用いた管理を行う場合には利用者一人当たり年間 200 ドルの利用料が発生する。ユーザーはスマホに接続する Bluetooth 式のリーダーを用いることでデータをスマホ経由でクラウドに送信することができる。

GE Healthcare 社と Zebra Technologies 社は共同で BLE 対応の病院向け RTLS ソリューション **Encompass** を開発した。このソリューションは配線や固定リーダーを必要としないため、従来型の RTLS と比較してコストを 60 パーセント削減することができる。

Invengo Textile Services 社は自社のビジビリティソリューション **Acuity** をモバイル環境で安価に利用できるようにした **Acuity Connect** をホテルなどのクリーニング管理に提案している。利用しているのは UHF パッシブタグで、選択袋をハンドヘルドリーダーで読み取って結果をクラウドに送信する。

ソリューション

[パッシブ・NFC]

マレーシアのリゾート施設 **Resorts World Genting** では RFID を利用して制服の管理を行っている。同施設は 1 万室の大型設備で 18,000 人の従業員を雇用しており、10 万着の制服の管理に RFID を導入した。導入したのは InvoTech 社の UHF パッシブ製品。

Boeing 社は自社の工場 4 箇所で RFID を利用した生産管理システムを導入している。この

システムは航空機構成部品情報のリスト(ARL)を RFID を用いて自動的に生成するもので、1 機当たり約 7 千個の航空機部品に UHF パッシブタグを含むラベルを貼付し、ハンドヘルドリーダーで読み取りを行う。システムは 2016 年に稼働し、富士通が開発した。

ノルウェーの海洋調査機関 IMR(Institute of Marine Research)では北大西洋でのサバの生育状況を監視するために RFID を利用している。同機関ではこれまで 16 万尾のサバに LF パッシブタグを埋め込んで放流し、協力工場でサバを処理する際に捕獲された場所やサイズを判定する。2016 年に協力工場で見つかったタグ貼付済みのサバは 800 尾だった。

ネブラスカ州の病院運営会社 Nebraska Medicine 社は手術用機材の在庫管理のために RFID を利用し、在庫切れを防いでいる。利用している技術は HF パッシブで、Cardinal Health 社の在庫管理ソリューションが利用されている。

カナダの空港ホテルに入っているパブ Barney's Pub & Grill では PourMyBeer 社の自動ビアサーバーを導入している。顧客は入店時に NFC カードを受け取り、それを壁のビールサーバーに当ててジョッキにビールを注ぐ。この NFC カードは 1 回 1 リットルまでしかビールを注げず、それ以上飲もうとするときには店員に依頼してリセットする必要があるため、飲み過ぎを防ぐ効果もある。このシステムは技術的な面白さが好きな若い男性に好評。

[アクティブ・RTLS・ビーコン]

Lockheed Martin 社はオーランドの倉庫で Bluetooth ビーコンを用いた RTLS による在庫管理システムを稼働させた。このソリューションは OnyxBeacon 社の Tracko という製品で、ビーコンのほか iOS と Android に対応したモバイルアプリとクラウドで利用できる。Lockheed Martin 社は 3 ヶ月のパイロットののち正式導入を決めた。

世界最大規模の検査・認証機関 SGS 社はアフリカで RFID を利用したコールドチェーンのトラッキングを提供する。同社は石油・ガス採掘機材のトラッキングをすでにアフリカで展開しているが、これをコールドチェーンに展開しようというもの。利用している製品は Savi 社のアクティブタグ。

ウィスコンシン州のクランベリー農園 Wisconsin Cranberry 社は IoT 機材を使って農場の温度と湿度を監視している。このソリューションは Monnit 社が開発したもので、900MHz 帯で通信するセンサータグを利用し、ゲートウェイから携帯電話回線経由で結果を送信する。

企業・規制・標準化・レポート

Bluetooth SIG は BLE でメッシュネットワークを構成するための規格をリリースした。従来は BLE ビーコンと近づいてきた端末とで一对一の通信が行われていたが、この規格により BLE ビーコン同士が通信を行うことが可能になり、広域ネットワークの低コストでの構築や、管理件数の多い RTLS など、さまざまな分野での応用が期待される。BLE メッシュネットワークの利用が具体化しそうな最初の分野として照明管理がある。